

東京外国語大学

Tokyo University of Foreign Studies

学部入学案内

パンフレット 2021

Tokyo University of Foreign

Studies

TUFS



詳細情報はWebサイトへ

受験生ナビ Hello! TUFS

<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/>



東京外国語大学公式アカウント

Instagramでキャンパスを見てみよう!

https://www.instagram.com/tufs_tokyogaidai/

2021

卒業までに身につく

5つの力

- 1 高度な言語運用能力
- 2 日本や世界諸地域についての知識・教養
- 3 現代社会を生きる力
- 4 専門的な知識
- 5 主体的に考え、行動し、発信する力

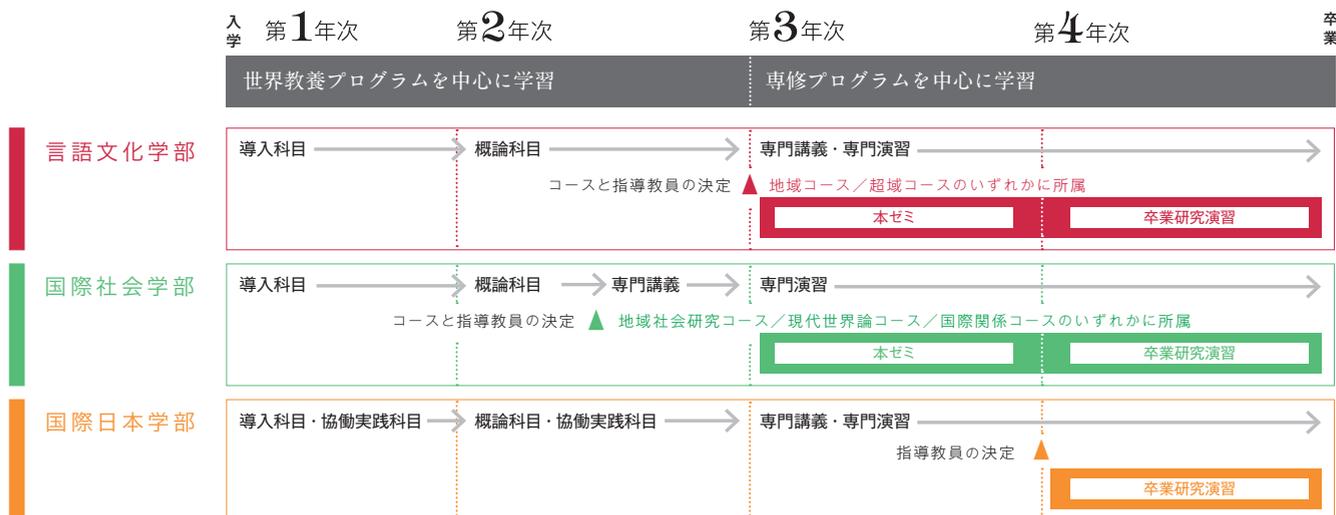
東京外国語大学は、高度な言語運用能力と地球社会化時代を生きるために必要な基礎的教養、専門知識を身につけ、国内外における言語間・文化間の架け橋となり、新たな価値観の創成に寄与する人材を養成します。



4年間の段階的カリキュラム [3学部の4年の歩み]

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/learning.html>

東京外国語大学に入学した学生は、まずは第1・2年次に3学部共通の「世界教養プログラム」を履修し、グローバル人材となるための基礎的教養を身につけます。その後、各学部の専門教育に進み、学びを深めます。



世界教養プログラム [3学部共通の教養プログラム]

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/glap.html>

いずれの学部に入學しても、まずは「世界教養プログラム」の科目を履修することになります。プログラムには文科系だけではなく、理科系の科目も用意されており、国際社会で活躍するために欠かせない知性と教養を身につけていきます。

世界教養プログラムには、「基礎科目」、「教養科目」、「言語科目」、「地域科目」の4つの科目区分があります。このうち、「教養科目*」は、現代社会で必要とされる基礎的な知識と技能そして幅広い教養を身につけるための授業科目で、「現代教養科目」、「自然科学系科目」、「教養日本力科目」、「キャリア・協働科目」、「臨地学習科目」などから構成されます。

* [教養科目の授業科目群]

市民社会と協働/国際社会と地域/多文化社会/キャリアのための経営学/教養としての言語学/教養としての統計学/歴史学(日本史、世界史)/哲学/憲法/こころの科学/文化と芸術/情報技法/健康と医療/環境と科学/日本の現在を知る/日本の言語を知る/日本語を教える/日本の文学と文化を知る/歴史の中の日本を知る/キャリアデザイン論/就業体験/社会協働/短期海外留学/スタディツアー/AI・データサイエンス/ほか



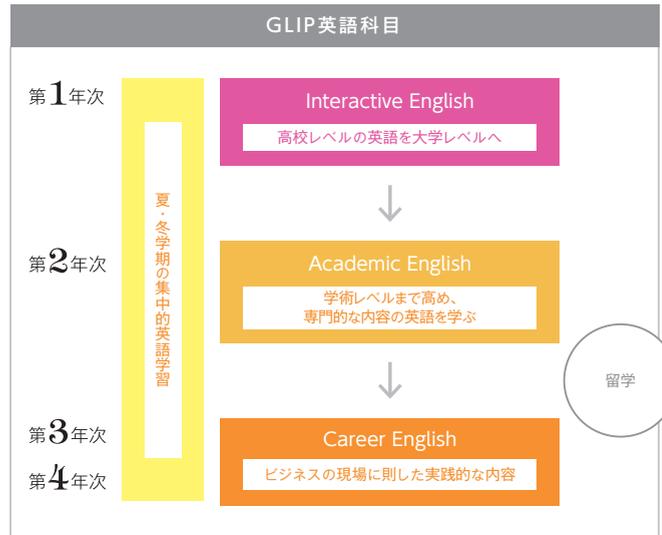


英語教育 グローバルに通用する英語力を身につける

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/education/english.html>

本学や留学先の大学では、英語で行われる講義を理解し、自らの考えを発信することが必要となります。GLIP（グローバル人材育成言語教育プログラム）英語科目では、高校レベルの英語をそのような高度な能力へと高めていきます。さらに、ビジネス界で通用するレベルまでステップアップさせることを目標に、段階的に学んでいきます。留学、就職、大学院進学など各自の目的や専門に合わせて、柔軟に履修できます。英語を専攻言語としない学生も、GLIP英語科目により高い英語力を身につけることができます。

また、英語そのものを学ぶ授業以外にも、英語によって学ぶ授業や、英語学習支援センター（ELC）での英語学習のサポート、留学生との共学・交流など、英語力を伸ばすためのさまざまな仕組みを用意しています。これらを活用し、共通言語としての英語の能力を高めます。



留学制度 卒業する学生の約8割が在学中に留学を経験

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/studyabroad/>

本学を卒業する日本人学生のうち約8割が、在学中に留学を経験しています。1年次で半数以上が短期留学をし、3年次で約6割が長期留学を経験しています。

留学先の多様さも本学ならではの、世界約70カ国・地域にある169の大学と学生交流協定を結び、長期の交換留学プログラムを実現しています。夏学期や冬学期を利用し、本学の海外協定校が行う多彩な短期プログラムに参加する学生も多くいます。

世界に飛び立ち、世界各地で生活する本学の学生たちの周りには、危険もないわけではありません。本学では、教職員一体となり海外で学ぶ本学学生へのサポート体制を整えています。渡航前のさまざまな危機管理研修や渡航中のオンラインシステム「ただいま留学中」を通じたサポートのほか、経験豊富な教員や世界各地にいる卒業生のサポート体制があることも本学の強みです。



留学体験記をWebで配信中！ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/studyabroad/experience/>



キャリア支援、就職

詳細はWebへ <http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/support/job.html>

進路・職業選択を支援するため、本学では「グローバル・キャリア・センター」を設置し、各種ガイダンスやセミナーの開催、専任のキャリア・アドバイザーによる個別面談を実施しています。本学では学生一人ひとりが自立した社会人・職業人（プロ）として、生きがいと働きがいに満ちた人生を送れるよう自らの人生を設計し、主体的な進路選択、職業選択を行うことを支援します。

また、国内外におけるインターンシップを実施するほか、プログラムやキャリアに関する理論を学ぶことができる科目を多数用意し、自分のキャリアを考える機会を設けています。

主な就職先（過去5年）

外務省、防衛省、東京都庁、(独)日本貿易振興機構(JETRO)、日本放送協会(NHK)、(株)朝日新聞社、(株)日本経済新聞社、(株)毎日新聞社、(株)読売新聞東京本社、(社)共同通信社、Google、楽天(株)、三菱商事(株)、住友商事(株)、丸紅(株)、伊藤忠商事(株)、全日本空輸(株)、日本航空(株)、日本通運(株)、マツダ(株)、トヨタ自動車(株)、スズキ(株)、パナソニック(株)、三菱電機(株)、ダイキン工業(株)、富士フイルム(株)、(株)日立製作所、キヤノン電子(株)、(株)小学館集英社プロダクション、(株)三井住友銀行、(株)三菱UFJ銀行、(株)みずほフィナンシャルグループ、大和証券(株)、アクセンチュア(株) など

単位認定インターンシップの体験談をWebで配信中！ http://www.tufs.ac.jp/student/careersupport/internship/ti_report.html

入試情報 2021

各入学試験について

入試区分	実施学部	概要	出願日程	募集要項公表時期
一般選抜 (前期日程)	言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部	大学入学共通テストと本学学力検査「外国語(英語)」「外国語(英語スピーキング)」「地理歴史(世界史または日本史)」の成績等で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
一般選抜 (後期日程)	国際社会学部	大学入学共通テストと本学学力検査「小論文」の成績で評価します。	1月下旬～ 2月上旬	11月下旬
学校推薦型選抜	言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部	出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テスト及び本学学力検査等を免除して、英語外部試験スコア等の出願書類、小論文及び面接により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。	11月初旬	8月上旬
帰国生等 特別推薦選抜	言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部	外国の教育制度に基づく教育機関(国内の国際バカロレア(DP)認定校を含む)において、中等教育を受けた者を対象に、外国における教育事情の違いに配慮し、英語外部試験スコア等の出願書類、小論文及び面接により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。	11月初旬	8月上旬

この他、留学生を対象として、「私費外国人留学生選抜(言語文化学部/国際社会学部)」「日本留学試験利用選抜(国際日本学部)」「海外高校推薦選抜(国際日本学部)」が実施されます。

※最新の情報は本学ホームページ「受験生ナビ Hello! TUFS」で公表します。

受験生向けWebサイト

受験生ナビ **Hello! TUFS** で最新情報をチェック!

<http://www.tufs.ac.jp/admission/navi/>

入学試験情報のほかに、各学部の学び、専攻言語・地域の概要、留学や就職活動のサポート体制、キャンパスライフ、オープンキャンパス・体験授業など、さまざまな情報を掲載しています。
TUFSアンバサダー(学生大使)が、在学生の日常生活、留学、サークルなどの情報をブログ「VOICE」で発信しています。



国立大学法人 東京外国語大学

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

<http://www.tufs.ac.jp>

入試に関するお問い合わせ先

Tel 042-330-5179

イベント・その他のお問い合わせ先

Tel 042-330-5158

2020年度オープンキャンパス 6月21日(日)

第98回外語祭 11月19日(木)～23日(月・祝日)

【東京】 7月11日(土)、9月26日(土)、
11月14日(土)、3月下旬

体験授業

【名古屋】 8月7日(金)

【福岡】 8月10日(月・祝日)

世界へ！ 3つの学部での学び

世界の言語・文化を学びたい

言語文化学部 言語文化学科

- 地域コース
- 超域コース

募集単位
言語

多様な言語と文化を深く学び、
世界の架け橋となる

世界の地域・社会を学びたい

国際社会学部 国際社会学科

- 地域社会研究コース
- 現代世界論コース
- 国際関係コース

募集単位
地域

グローバルな視点で問題を考え、
解決できる実践的な能力を備える

世界の中の日本を学びたい

国際日本学部 国際日本学科

日本の、その先へ

国際的な視野から日本を総合的に
学び、世界に向けて日本を発信する





多様な言語と文化を深く学び、世界の架け橋となる

学びの特長

1. 世界のさまざまな地域の言語や文化を深く学ぶ
2. 専攻言語や英語の高度な運用能力を身につける。
その他の外国語も多様に組み合わせつつ、高いレベルで言語を習得する
3. 言語研究・文化研究を中心とした人文学的思考を養成する

養成する人材像

世界のことばや文化、とくに専攻地域のことばや文化に精通し、優れた職業的能力を備えた国際教養人。高いコミュニケーション能力とコーディネーション能力を備え、国内外で言語間・文化間の架け橋となって新たな価値を生み出す人材

4年間の段階的カリキュラム ●科目名は、2020年度開講科目のため、変更になる可能性があります

言語文化学部に入学者は、第1・2年次ではおもに「世界教養プログラム」と呼ばれる3学部共通のカリキュラムで、専攻言語やその他の言語、専攻地域に関わる基礎的内容や教養科目などを学びます。第1・2年次では併せて専門分野の基礎(導入科目・概論科目)も学び、第3年次には2つのコース(地域コース/超域コース)のいずれかに所属して、専門的・学術的学びが本格的に始まります。第4年次は学部4年間の集大成として、指導教員の下で卒業研究の作成に取り組めます。

地域コース

世界の10の地域(北西ヨーロッパ・北アメリカ、中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、イベリア・ラテンアメリカ、ロシア、中央アジア、東アジア、東南アジア、南アジア、中東)について、言語学、文学、思想、宗教、表象文化論などの学問分野を横断し、複数の視点から学びます。特定の分野にフォーカスするとともに、地域に共存する多様な言語、文学、文化を広く学び、その地域に対する深い知見を蓄えることによって、異なる文化を理解し、新しい可能性を開拓する力を磨きます。

導入科目 言語研究入門/文化研究入門

概論科目 ヨーロッパ・アメリカ言語研究概論/アジア・アフリカ言語研究概論/ヨーロッパ・アメリカ文化概論/アジア文化概論

専門講義・専門演習科目 英語研究/北西ヨーロッパ、北アメリカ、中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、イベリア・ラテンアメリカ、ロシア、中央アジア、東アジア、東南アジア、南アジア、中東文化研究/中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、イベリア・ラテンアメリカ、ロシア、中央アジア、東アジア、東南アジア、南アジア、中東言語研究

超域コース

言語学・言語情報処理学(言語学、音声学、コーパス言語学など)、言語教育学(英語教育学など)、通訳・翻訳(通訳・翻訳論、コミュニケーション論など)、文学・文化理論(文学、思想、文化人類学、宗教学など)、人間科学(心理学、スポーツ科学など)の五つの学問分野のなかから一つを選び、地域を超えた言語研究・文化研究を行います。専攻する言語と地域をつねに視野に入れながら一つの学問分野を専門的に学ぶことで、世界のさまざまな地域の現実に根ざした、豊かな教養を身につけます。

導入科目 言語研究入門/文化研究入門

概論科目 言語学概論/音声学概論/言語教育学概論/多言語・多文化社会論概論/文化・文学概論/思想文化概論/言語処理概論/英語教育学概論/通訳概論/人間科学概論/英語概論(英語学)/英語文学概論(英米文学)

専門講義・専門演習科目 言語学/音声学/言語処理論/統計科学/コミュニケーション論/通訳・翻訳論/実践英語/文化・文学研究/思想文化研究/人間科学研究/英語教育学研究

募集人員

募集単位(専攻言語)	前期日程	推薦	入学後の専攻地域	募集単位(専攻言語)	前期日程	推薦	入学後の専攻地域	募集単位(専攻言語)	前期日程	推薦	入学後の専攻地域
英語	36人	5人	北西ヨーロッパ・北アメリカ	ロシア語	21人	3人	ロシア	ウルドゥー語			
ドイツ語	22人	3人		ロシア語及びウズベク語 モンゴル語	9人	2人	中央アジア	ヒンディー語	19人	3人	南アジア
ポーランド語 チェコ語	12人	2人	中央ヨーロッパ	中国語	23人	3人	東アジア	ベンガル語			
フランス語	22人	3人		朝鮮語	12人	2人		アラビア語	24人	4人	中東
イタリア語	12人	2人	西南ヨーロッパ	インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語	19人	3人		ペルシア語			
スペイン語	25人	3人		タイ語			東南アジア	トルコ語			
ポルトガル語	11人	2人	イベリア・ラテンアメリカ	ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語	23人	5人					
								計	290人	45人	



グローバルな視点で問題を考え、 解決できる実践的な能力を備える

学びの特長

1. 世界諸地域の政治・経済・社会と歴史的背景に関する専門知識を深める
2. 紛争・災害・貧困・難民等、現代世界が直面する諸問題を社会科学的手法で分析し、問題の本質を洞察し、問題解決に資する能力を養う
3. 現地社会と協働し問題解決にあたる姿勢を育成する

養成する人材像

1. 世界のさまざまな地域の歴史的経緯や複雑な現状を理解し、分析するリサーチ能力と、グローバルな視点から問題を解決する実践的な能力を備えた人材
2. 諸地域の社会・政治・経済・歴史等の知識と専門性を活かして、国内外で活躍できる人材

4年間の段階的カリキュラム

●科目名は、2020年度開講科目のため、変更になる可能性があります

入学後、最初は「世界教養プログラム」と呼ばれる3学部共通のカリキュラムで、入学時に選択した地域とその地域言語に関わる基礎的な内容や教養科目を学びます。第1・2年次では併せて専門分野の基礎（導入科目・概論科目）を学び、2年次の後半からは学部のコースに進学し、専門教育を受けることになります。講義科目の他、指導教員の本ゼミなどを履修し、4年次には卒業論文、卒業研究に取り組みます。

地域社会研究コース

地域社会研究コースは、世界のさまざまな地域に住む人たちの世界を具体的な事例に即して考察し、「歴史的なもの見方」と「現代社会を構造的に捉える視角」を学びとることのできる人材を育成することを目標としています。

導入科目 地域社会研究入門／歴史社会研究入門

概論科目 地域社会研究概論／歴史社会研究概論／地域社会研究方法論

専門講義・専門演習科目 北西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、イベリア、ヨーロッパ、北アメリカ、ラテンアメリカ、ロシア、中央アジア、東アジア、東南アジア、南アジア、中東、アフリカ、オセアニアの各地域の地域研究／トランス・リージョナル／人文地理学／自然地理学／地誌学 など

現代世界論コース

現代世界論コースは、複雑な様相を呈している現代世界、そこに生じる多様な問題群を自ら発見し、柔軟で批判的な思考によって問題の本質を捉え、深く幅広い専門知識や技術を結集して、粘り強く問題解決のために行動することのできる人材を育成することを目標としています。

導入科目 世界認識論入門／政治社会論入門／社会関係論入門

概論科目 世界認識論概論／政治社会論概論／社会関係論概論

専門講義・専門演習科目 グローバル・スタディーズ／エスノポリティクス／政治理論／哲学・社会思想／社会文化論／歴史社会論／社会学／ジェンダー論／教育社会学 など

国際関係コース

国際関係コースは、領土紛争、宗教や資源をめぐる摩擦、そして貧困や差別、国際テロの脅威などの国際社会の現実を、さまざまな角度から社会科学的手法をもちいて理論的・歴史的・実証的立場から理解し、政策志向的に考えていくことのできる人材を育成することを目標としています。

導入科目 政治学入門／法学入門／経済学入門

概論科目 国際政治概論／国際経済概論／国際法概論／国際協力概論

専門講義・専門演習科目 国際政治論／比較政治学／国際法／国際機構論／公法／私法／経済学／国際経済学／開発経済学／経営学／国際協力論／国際教育論／平和・紛争論／経営学入門／経営学概論 など

募集人員

募集単位 (専攻地域)	前期 日程	後期 日程	推薦	入学後の 専攻言語
北西ヨーロッパ/ 北アメリカ	20人	5人	2人	英語
中央ヨーロッパ	28人	6人	2人	ドイツ語 ポーランド語 チェコ語
西南ヨーロッパ	27人	8人	2人	フランス語 イタリア語
イベリア/ ラテンアメリカ	29人	7人	3人	スペイン語 ポルトガル語
ロシア	17人			ロシア語
中央アジア	13人	3人	2人	ロシア語及び ウズベク語 モンゴル語

募集単位 (専攻地域)	前期 日程	後期 日程	推薦	入学後の 専攻言語
東アジア	30人	7人	3人	中国語 朝鮮語
東南アジア第1	15人	4人	2人	インドネシア語 マレーシア語 フィリピン語
東南アジア第2	22人	4人	2人	タイ語 ラオス語 ベトナム語 カンボジア語 ビルマ語

募集単位 (専攻地域)	前期 日程	後期 日程	推薦	入学後の 専攻言語
南アジア	15人	4人	2人	ウルドゥー語 ヒンディー語 ベンガル語
中東	19人	5人	2人	アラビア語 ペルシア語 トルコ語
アフリカ	10人	3人	2人	英語
オセアニア	9人	—	1人	英語
計	254人	56人	25人	



国際的な視野から日本を総合的に学び、 世界に向けて日本を発信する

学びの特長

1. 日本そのものをフィールドとして、分野を超えた多角的な視点で日本を捉え直す
2. 日本語と英語をコミュニケーションツールとして使い、日本人学生と留学生がいっしょに学ぶ
3. 自律性を涵養し、多様な人々との協働による課題解決型のアクティブ・ラーニング

養成する人材像

国際的な視野から日本を総合的に学び、世界に向けて日本を発信する力や多文化化する日本の問題解決に資する知識や協働力を備えた人材

4年間の段階的カリキュラム

国際日本学部に入学者は、第1・2年次で学部共通の「世界教養プログラム」に従って学習を進めます。併せて第1年次には導入科目を、第2年次には概論科目を履修して、専門的・学術的な学びが始まります。また、協働実践科目を履修し、協働力や発信力を身につけます。第3年次からは、専修プログラムの専門講義や専門演習を履修して、専門分野の考え方や方法論を身につけます。複数の領域の専門演習を履修して幅広く学べることも特長です。第4年次に指導教員を決め、学部4年間の学修の集大成として、指導教員の下で卒業論文の執筆または卒業研究の作成に取り組みます。

協働実践科目 多文化コラボレーション/地域社会フィールドワーク/社会発信型プロジェクトワーク/教育支援フィールドワーク

導入科目 日本学基礎/日本史入門/日本社会入門/日本文学・文化入門/日本語学入門

概論科目 日本社会分析概論/日本外交・国際関係概論/日本史・社会概論/日本文学・文化概論/日本語学概論/日本語教育学概論

専門講義科目 異分野横断研究/文化理解/多文化社会論/現代日本社会論/日本政治・経済/日本外交・国際関係/日本史/日本思想史/日本文化/日本古典文学/日本近現代文学/日本語学/日本語古典文法/第二言語習得論/日本語教育学/漢文学/書道

専門演習科目 異分野横断演習/多文化社会演習/日本社会演習/日本文学・文化演習/日本語学演習/日本語教育学演習

PICK UP
授業

「多文化コラボレーション」

多言語多文化のチームが協働で地域の魅力を発見し発信する授業です。自分たちで設定したテーマに沿って、英語と日本語を交えてグループワークを行います。現地調査や専門家へ取材した内容をふまえて、ミニ番組を制作します。多言語多文化共生力や行動力・発信力を身につけることを目指します。

PICK UP
授業

「社会発信型プロジェクトワーク」

多言語多文化のチームが協働して、あるテーマについて日本と「海外」の比較を分析することで、多様性を知り、相違点や類似点を見つけ、さらにさまざまな資料を調べて知識を深め、グループでのディスカッションを重ねて共通認識を構築することを目指します。リサーチ力、分析力、ディスカッション力、論理的思考力、ライティング力等を総合的に伸ばすことも目標とします。

PICK UP
授業

「教育支援フィールドワーク」

外国語教育での基本的な教え方を理解した上で、ペアやグループで実際にプランを立てて模擬授業を実践することで、教育における学習者支援の方法を学ぶ授業です。日本語教育を国内や海外で実践してきた教員が授業内の指導を行います。言語教育のスキルを身につけると同時に、キャリア形成意識の向上も目指していきます。



募集人員

一般選抜 (前期日程)	学校推薦型選抜	帰国生等 特別推薦 選抜	留学生を対象とする選抜	
			日本留学試験利用選抜	海外高校推薦選抜
35人	10人	若干名	20人	10人